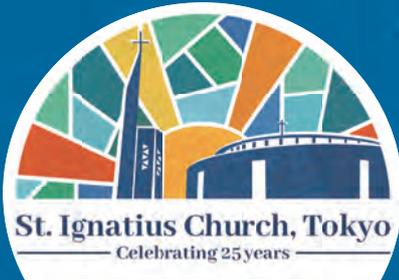


5月

カトリック麹町教会

MAGIS



St. Ignatius Church, Tokyo
Celebrating 25 years

マジス = 「より、もっと、さらに」

教会テーマ

さあ出かけよう 心をつないで イエスとともに
～ともに重ねた25年の喜びのうちに 聖霊の導く未来へ～



どうぞよろしくお願い致します

協力司祭 中村健三

皆さん、初めまして。中村健三と申します。

3月5日の夜、六甲教会より来ました。この6月の半ばに、86歳になります。足元が見るからに危うい年寄りです。スママセン。

管区長から受けた任命書には、4月1日のご復活後に引越しとなりましたが、しかし3月1日に若い司祭が助任司祭として六甲教会に着任し、3日には教会の歓送迎会もありました。今は聖イグナチオ教会の協力司祭として、SJハウス*に住んで教会に通っています。

既に広島司教区で何回も引越しは経験済みですが、はるかに東京は遠く、引越し業者は20個の荷物と大きなバッグを依頼する骨の折れる仕事でした。東京は以前に30年以上は住んでいたのに別に驚くことは何もないと、タカをくくって今もってあきれることが多くわねながらビックリ仰天しています。

SJハウスは顔ぶれがすっかり変わり、住人が少なくなり、聖イグナチオ教会の方は規模がますます大きくなり、出入りする人が増え、主任司祭と4人の助任司祭がフルタイムで働いて

いますが、多くの協力司祭が必要になりました。葬儀、結婚式、ゆるしの秘跡、講座、各国語のミサなど、やることはいっぱいあるようです。聖週間が大賑わいのうちに無事に終わり、今は通常通りの仕事にやっと戻ったといえそうです。

今もって浦島太郎の心境ですが、新たな職務に早く慣れたいものです。大きな全く新しいビル街、群がり集まる大勢の人々、えらく便利になった交通網、われ先に空席を求めて殺到する通勤者、きらびやかな地下街、そこを私はウロウロ、マゴマゴするばかり。しかしさまさまな場と時で、杖をついた年寄り、重い障害を抱えた人、重い脚を引きずる疲れ切った人を見ます。このような人々のために、私が何か少しでも出来ることがあれば嬉しいのですが。

「あと5年間は大丈夫です。どうぞ私に任せてください」と、胸を張って言えないのが現状で残念ですが、今も私に出来ることをつましく、爽やかに行えれば幸いです。どうぞよろしくお願い致します。どうぞお手柔らかに。 合掌

*SJハウスについて

SJハウスは、イエズス会が母体になっている上智大学の構内にある修道院です。SJはラテン語の Societas (Soc) (イエズス会) の略で、大正12年に完成しました。世界各国から日本の大学教育のために来日されたイエズス会の神父様たち、長年日本で働かれた神父様や現在、大学で教鞭をとっている神父様などが住んでいます。



教会報 MAGIS 5月号

- † 四旬節黙想会 P2～3
- † 教会行事 ～聖週間～ P4
- † 2024年度信徒評議員 P5
- † 新年度「信徒養成講座」開講 P6
- † Family of St. Ignatius ～スペイン語圏から～ P7

【5月の共同祈願】

5月はマリアさまの月です。
私たちはあなたの愛情深さに憧れています。
新たに洗礼を受けられた兄弟姉妹にも
教会の母なるあなたのように
愛情を注げますように。

【ミッション2030-前文-】

私たち聖イグナチオ教会は、
祈りに基づく使徒的共同体を生きていきます。
現代の社会は、命の軽視や孤独、過度の競争原理や格差、
環境破壊など、未来に希望を見出しにくい
反福音的なものに脅かされています。
それに対して、私たちは自分たちの殻に閉じこもることなく、
いつくしみの扉を開いていきます。
私たちは、同伴者イエス・キリストと心を合わせて、
貧しい人や弱い人の声を聴き、
皆でともに手をたずさえて(日本人も外国人も、老いも若きも)、
福音の喜びを分かち合っていく使命を生きていきます。

四旬節黙想会

ともに歩む教会を目指して
人々の声に響く聖霊の呼びかけに
耳を傾けよう

3月21日(水・祝)主聖堂にて、イエズス会日本管区
長の佐久間勤神父の指導による四旬節黙想会が開催され
ました。聖イグナチオ教会の目標の一つは「ともに歩む教
会」です。「人々の声に響く聖霊の呼びかけに耳を傾ける」
をテーマに、10時より旧約聖書を用いた2つの講話と黙想
(各20分)、12時からミサが行われました。参加者は153
名で、オンライン配信もされました。

*講話で使用した聖書の箇所は、YouTubeの概要欄からダウンロードができます



最初に、佐久間神父は
「普段、読む機会が少ない
かもしれませんが、今日は
旧約聖書に耳を傾けてみま
しょう。一つだけでも心に響

く言葉を受け止めて、繰り
返し味わってみてください。
神からのメッセージは何か？
祈りながら振り返ってみて
ください。これが今日の黙想
のやり方です」と話されまし
た。

また、「『神の声に従って
生きる』といいますが、どの
ように神の声を聞いたらい
いでしょうか。神はすべてを通
して語られています。直接
ではなく人々や世界の出来
事を通して語りかけます。人
間は理解して、判断して、行
動する力を与えられました。
そこにも神の声は響いていま
す。シノドスでは、他の人々の

中に神の声を聞き分けるこ
とを大切にしています。

では、誰の声を聞けばいい
のか？ どこに神の声があ
るのか識別を大事にしてく
ださい。神の声を通して与え
られる恵みはすぐにはわか
らないので、時間をかけて、
どのように答えてくださる
かを見ながら歩いていかな
いといけません。

私たちの心の中にはいろ
いろな動きがあります。その
判断の基準となるのは聖書
の言葉です。間違っている方
向にいていないか確かめな
がら、同時に心に響くものを
大切にしていこう。これがキリ
スト教の伝統であり、私た
ちの生き方です」と話され
ました。

第一講話：
聞くこと

- ① アブラハムの旅立ち
(創世記12:1-4)
- ② ナアマンのいやし
(列王記下5:1-19)

① テラと2人の息子は、ウル
からハランを経て約束の地カ
ナンへ出発します。旅の前に
未っ子のハランが死に、長男

アブラハムの妻サライは子ど
もが産まれず、跡取りは望
めません。この先どうなるの
か不安の中、「私の示すところ
に行きなさい」という神の
声に従ってカナンへ向かいま
す。到着してから神は「与え
たい土地はここだ」と言いま
す。

家族はどこへ行くのか教
えてもらわずに旅立ちまし
たが、到着したのは正しい場
所でした。ということは、闇
の中で手探りで進んでいる
ように思えて、実は神は始め
から正しい方向へ導いていた
ことになりました。神はそのよ
うな導き方をされます。私
の場合は「迷っている時はジ
タバタしない。今やっているこ
とをそのまま続ける。そのう
ち、神さまが道を示してく
ださい」。これが旅の秘訣で
す。その時、大事なのは誰の
声を聞くかです。

② 大国シリアの將軍ナアマン
の皮膚病がいやされるまで
の旅物語です。重い病いを治
すために、ナアマンは隣国イ
スラエルに向かいます。預言
者エリシャにいやしを頼みま
すが、エリシャは「ヨルダン川
で身を洗いなさい」とだけ言

います。「小さな川でいやされるはずがない」と怒ってナアマンは帰ろうとしますが、家来にいさめられ、ナアマンは清い体になります。権力に頼っていたナアマンは神にゆるしを願い、病いをいやしてくれた土地の土を持って帰りたいと謙虚に願います。どこにもある土ですが、ナアマンにとっては病いをいやし、イスラエル以外に神がいらないことを経験した特別な土です。

ラエルへ行くことをすすめたのは召し使いの少女だったということも忘れてはいけません。大切にすべきものは何なのか。何度も味わい、思い返しましょう。

読み過ぎしがちですが、冒頭に「主がかつて彼を用いて」戦争に勝ったと書かれています。実は、神はずっとナアマンとともにいてくれたのです。最初から神が望まれ、導いてくれたことがわかります。

黙想

ヒント：神の御前にいることを思いながら、振り返ってみましょう。目標が見えず、探しながら歩いたこと、何か大切なことを見つけた喜び、その中でも心の奥深いところの喜びに気づいたこと・・・アブラハム、ナアマンの物語と響き合うことはありませんか。

第二講話：聞くことを妨げるもの

①ゲハジの失敗

(列王記下5:19-27)

②荒れ野の蛇

(民数記21:4-9)

①ナアマンのいやしはゲハジの物語とセットになっていきます。ゲハジはエリシャがナアマンからお礼を受け取らなかったことをもったいないと思いい、ナアマンを追いかけます。エリシャから遣わされ、仲間贈ると嘘をつき、金銀、晴れ着をもらい家に隠します。エリシャはすべてお見通しで、ゲハジはナアマンと同じ皮膚病になり、雪のように白い肌になってしまいました。

黙想

結末は正反対です。「小さい人になる」と反対の生き方を私たちは求めがちです。この話は何が神の声を聞く妨げになるかを教えてください。

②エジプトから導き出された民は、モーセと荒野の旅を続けています。食べ物がなく、神など必要ないと思うようになりまし。そこで、神は噛まれると死んでしまう炎の蛇を送りました。民は物よりも神に従うことが大事だと気づきます。青銅の蛇を作り旗竿の先につけます。蛇にかまれても天を指している蛇を見上げれば、命を得ることができ、地上の物に

縛られない神を見上げる生き方へと導かれます。

ミサ

黙想会後に佐久間神父主司式でミサが行われ、福音箇所(ヨハネ8:31-42)をもとに説教されました。

神に従う道は正しく、これが識別です。間違った方向に行くと、うまくいかない。楽な旅ではないが正しい道だったら、目的にたどりつく。この物語が教えてくれることです。

黙想

ヒント：大切にしなければならぬこと、そうではないことを取り違えたことはありませんか。耳を傾けるべきだったのは、誰の言葉だったでしょうか。よりよいものに気づいた時、神は何をくださったでしょうか。ナアマンとゲハジ、炎の蛇と青銅の蛇、物語を通して何が心に響いたでしょうか。

最後に佐久間神父は「大きなものになるのか、小さなものになるのか。広い門から入るのか、狭い門から入るのか。静かに祈り、選ぶ。その時に小さな人の声を聞く。神の前では隠したり、言い逃れしない、あるがままに。これがともに歩む人々の中から聖



「神の言葉に従う道は平坦ではありません。神はアブラハムにもひとり子イサクを『捧げなさい』と試練を与え、子孫をふやす約束をします。神から与えられたものを返す。自分から手放す。ここを求められる時がいつか来ます。すべてを返す最後の時、十字架を見据えて、御父に従いながらアブラハムの生涯を黙想し、命の門を通ることができるよう祈りましょう」

教会行事
〜聖週間〜

4年間に及んだコロナウイルスの影響も緩和され、今年度の聖週間は多数の信徒が主聖堂に集まり、教会に活気が戻ってきました。

*はオンライン配信あり

十受難の主日

枝の主日ミサ

3月24日(日)10時*

主司式 高祖敏明主任司祭

コロナ禍以降5年ぶりに、主のエルサレム入場の記念が主聖堂前で行われました。高祖神父による枝の祝福に続き司祭、会衆とも前庭から入場。高祖神父は「なぜ神の御子イエスがこんな苦難を受けなければならなかったのか。そこにはどのよ



▲枝の主日 高祖神父の灌水を受けて

うな神のご計画があったのか。今日の聖書朗読(マルコ15:1〜39)はこの点をじっくりと考え、味わうよう私たちが招いています」と、聖週間の祈りを呼びかけました。

十聖木曜日

主の晩餐の夕べのミサ

3月28日(木)19時*

主司式 佐久間勤神父

佐久間神父は説教で「私たちは、日々当たり前のように隣人の愛を浴びながら生活しています。いろいろな人を通して、特に私たちはイエスさまを通して、神さまの愛をいただいているのです。ありふれた愛のあるもてなしに神が宿っています。私たちもイエスさまにならない、互いに兄弟姉妹の足を洗うように人に仕えましょう。そうす



▲聖木曜日 洗足式

ることで、神さまの愛がこの世界に実現します」と話されました。

今年は5年ぶりに洗足式が行われ、聖体安置式でご聖体がザビエル聖堂に移されました。

十聖金曜日

主の受難の祭儀

3月29日(金)19時*

主司式

グエン・タン・ニャー神父

ニャー神父は祭壇前で伏せて祈り、ミサ説教は、9月14日に司祭叙階される予定の山内豊助祭でした。

十聖土曜日

復活の聖なる徹夜祭

3月30日(土)19時*

主司式 高祖敏明主任司祭

光の祭儀はコロナ禍前と同様に主聖堂前室で行われ、復活のローソクの光の中で厳かに執り行うことができました。また、ミサの中で洗礼式が行われました。

復活の主日

3月31日(日)10時*

主司式 高祖敏明主任司祭

ご復活の日の午前中は晴天に恵まれました。高祖神

父は説教で「私たちは洗礼を受けることによりキリストの祭司として全人類のために、地球上のすべての命を守るために祈ることが課せられています。主の復活を記念し復活の神秘にあずかる私たちは、心を合わせて集会祈願の祈りを神に捧げましょう」と語られました。続いて聖体奉仕者任命式が行われ、参加した5名の聖体奉仕者に任命書が授与されました。

●洗礼式

3月31日(日)15時半

主司式

サトルニノ・オチョア神父

冒頭オチョア神父は「今日、私たちの共同体に仲間入りされる方の誕生を心から喜び、ともに祈りましょう。この方々を選び、今日まで光を与えてくださった神さまが、聖霊を注ぎ新しい命と力を与えてくださるよう祈りましょう」と語り、説教の中で「復活とは新しいことを見聞きして、永遠の命にあずかることです。そしてキリストのご復活は歴史上の過去のことでなく、文法的に言えば現在進行形

で私たちの中で行われつつあるのです。時空を超え私たちも今日の福音箇所(ヨハネ20:8)の「もう一人の弟子」と同じ信じる人として、一緒にこのことを味わいたいのです。キリストによってキリストとともにキリストのうちに、私たちが今、生きている、祈っている。私たちは生かされているということですから。これこそ復活だと思えます」と締めくくりました。

前日の復活徹夜祭と合わせて、復活祭の新受洗者は82名でした。



▲復活の主日 洗礼式

●洗礼お祝い会

3月31日(日)17時から

新受洗者と代父母、司祭、シスターや信徒の方々が集い、ヨセフホールで行われました。4年ぶりに飲食も解禁となり、立食形式で和やかなひと時を過ごしました。



▲2024年度宣教司牧評議会

稲やかな光に誘われて、既にいらしている方はもちろん、久しぶりの方も気持ちよく教会に足を運び、多くの方とミサにあずかり祈りを深めて皆が一つになる。そんな一年間になるよう力を尽くしてまいります。

2024年度信徒代表挨拶

久原 清治

信徒代表を務めさせていただきます久原清治です。よろしくお願いたします。

神子様や信徒の方が引用なさる聖書の言葉の中で、多く耳にするのは、「二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもまたその中にいるのである」(マタイ18:20)です。皆さまよくご存じかと思いますが、私はこの聖句を耳にすると自分の内に元氣嬉しさを感じます。皆さまはいかがですか。

4月よりミサ中のマスク着用は任意となりました。コロナ期間中にはミサのライブ配信などオンラインの恩恵にはあずかったものの、やはり直接お会いしたい、お茶をご一緒したいの思いは強くなるばかり。

本年度教会テーマは、「さあ出かけよう心をつないで イエスとともに重ねた25年の喜びのうちに、聖霊の導く未来へ」です。また現聖堂25周年、聖イグナチオ教会75周年、前身の聖テレジア教会献堂88周年を迎えます。

新信徒評議員挨拶

片岡 敏晃

子どもたちが日曜学校のお世話になり、その縁で朗読奉仕をしています。ともに信頼し、皆さまと共に、キリストの体である教会のために感謝して力を尽くせますよう、お祈りください。

ガス レイモンド

ガーナ出身で2009年にイングリッシュセンターで奉仕を始めました。朗読、賛美礼拝、英語会報のメンバーで、英語ミサで聖体奉仕をしています。多様性ある共同体の調和した成長に貢献したいです。

絹田 サウイマラエ

洗礼名はマリア・ゴレットです。生まれたところは、南太平洋の西サモアです。聖イグナチオ教会の信徒としては、約30年経ちました。今は、英語圏共同体の奉仕を頑張っています。

鈴木 靖規

「マリアはこれらの出来事をすべて心に納めて、思い巡らしていた」(ルカ2:19)

(50音順)

心に留め、思い巡らし、喜んで奉仕させていただきます。よろしくお願いたします。

並木 千登世

共同の皆さまのご協力をいただきながら、教会のあり方として大切なことを忘れず活動してまいります。よろしくお願致します。

橋本 真和

幼い頃からこの教会で、転勤・旅先では他の教会の仲間・兄弟姉妹にいつても迎え入れてもらいました。多様な仲間での不易流行、ともに歩めるよう、皆さまお力添えをお願い致します。

柳元 美樹子

20年前に転入、親子で教会に育てられ、私は現在聖体奉仕と受け皿グループでの奉仕をしております。これから色々な形で皆さまと繋がり、微力ながら働き始めます。どうぞよろしくお願致します。



2024年信徒評議員役割担当

(順不同)

- 信徒代表 久原清治
- 副代表 光藤真知子・樺孝啓
- 書記 越智道宣・眞鍋まり・鈴木靖規・片岡敏晃
- 会計 眞鍋まり・並木千登世
- 総務 桑田貴子・光藤真知子・橋本真和・絹田サウイマラエ・柳元美樹子

ミッション2030役割担当(4つの柱を軸に)

- 〈祈りを深める〉
- ・典礼 光藤真知子・片岡敏晃・絹田サウイマラエ
- 〈福音を伝える〉
- ・広報 越智道宣・樺孝啓・鈴木靖規・ガスレイモンド・柳元美樹子
- ・教会報 桑田貴子・柳元美樹子・ガスレイモンド
- 〈共同体を生きる〉
- ・教会学校 眞鍋まり・橋本真和
- ・国際 桑田貴子・絹田サウイマラエ・ガスレイモンド・並木千登世
- ・活動グループ 越智道宣・光藤真知子・樺孝啓・鈴木靖規・片岡敏晃・柳元美樹子
- ・信徒交流 眞鍋まり・鈴木靖規
- ・福祉関連 眞鍋まり・柳元美樹子
- ・講座 桑田貴子・ガスレイモンド・並木千登世

〈新しい協働を進める〉

- ・宣教協力体 久原清治・桑田貴子・樺孝啓・鈴木靖規・橋本真和・ガスレイモンド
- 〈ミッション2030小委員会〉
- ・並木千登世
- ・久原清治・光藤真知子・片岡敏晃
- ・並木千登世
- 〈ミッション2030プロジェクトチーム〉
- ・桑田貴子・眞鍋まり・橋本真和・絹田サウイマラエ

信徒養成講座に 参加しませんか？

※詳しい講座のスケジュールは急に変更になることがありますので、初めて参加される際は講座担当者か教会事務室にあらかじめご確認ください。講座内容、講座担当者の連絡先等は、教会のホームページに掲載されています。



教会ホームページは
こちらを読み取って
ください

*は信徒会館

●日曜日の講座

日時	担当	場所	内容
第1・3日曜日 13:30～15:30	木村美智子 信徒	岐部 309	自分のこれまでの歩んできた人生を見直し、生きていく方向性を見つけるための霊操を学びながら体得していく集いです。

●月曜日の講座

日時	担当	場所	内容
毎週月曜日 14:00～16:00	栗栖徳雄 信徒	203B*	共に学ぶ『福音の喜び』。教皇フランシスコの使徒的勧告『福音の喜び』をゼミナール形式で学びます。

●水曜日の講座

日時	担当	場所	内容
第4水曜日 10:30～11:45	Sr. 野本佳子	203AB*	詩編をより深く理解するために、その背景になっている聖書の該当箇所を読み、信仰者の生き方、祈り方を学びます。
第1・3水曜日 13:30～15:00	柴田潔 神父	アルペホール*	「カルロ・マリア・マルティーニ枢機卿による霊操」。優れた聖書学者であり、霊操指導者として知られた枢機卿の黙想書を使用します。

●金曜日の講座

日時	担当	場所	内容
毎週金曜日 18:45～20:00 5月10日開講	山中大樹 神父	203A*	新約聖書講座です。ギリシア語原文を踏まえつつ福音書を読み、解説します。信仰の分かち合いではありません。

●土曜日の講座

日時	担当	場所	内容
第1土曜日 10:30～11:30	ボニー・ ジェームス神父	岐部 309	「聖書と典礼を読む」講座です。その週の聖書と典礼を読み、講話を聞き、分かち合いを行います。
第1土曜日 10:30～11:45 6月1日から開講	Sr. 品川ヨシ子	アルペホール*	「聖書と絵画で祈る会」。今年は救いの歴史を巡って、聖書と宗教画を使って、祈りを深め、分かち合いをしています。
第2土曜日 14:00～15:30 ミサ 16:00～17:00	岩島忠彦 神父	主聖堂	「信徒の月例会」は信徒の方々が信仰の教えに対する理解をさらに深めるための月に一度の講話です。
毎週土曜日 16:30～17:30	信徒（パウロ会）	ZOOMと 404*	信徒による宣教「パウロ会」です。教会、聖書、教えをよりよく知ることで、日常生活の中で自然と、愛とめぐみの味わいを深めていこうと活動しています。
第2土曜日 19:00～20:30	クロディエン助祭	Google Meet	イシドロ・リバス神父の『祈りを深めるために（その1）』と聖書を使用して講義と分かち合いを行い、豊かな信仰生活を送るためのコツを仲間とともに学んでいきます。



Family of St. Ignatius

～スペイン語圏から～

華やかなスペイン語聖歌の魅力

「オラ!」、スペイン語圏(中南米・スペイン)の気さくな挨拶「こんにちは」です。スペイン語聖歌隊(コロ)でギターを弾いて8年、今もスペイン語を話せない私ですが、スペイン語聖歌の魅力を少しだけ紹介します。

ミサの進行は日本語ミサと同じですが、大きく違うのは特に聖歌です。快活な入祭の歌、栄光の輝きを感じるグロリア、教皇ミサでも歌ったサント、聖体拝領後は祈りの囁きのようなコミュニオン、そして、閉祭にはマリア様に

感謝し捧げる優しさいっぱいなどの歌など全7曲。日本画とは違う油絵・多彩な民族画のイメージです。それらはまるでポップスのようでもあり、故郷の家族への愛のパラード、時には信仰を分かち合うエールです。

また、聖歌の伴奏はオルガンではなくギターなのが大きな特徴です。シンプルなコード(和音)展開で、ギターならではのリズムと音の透明感があります。そこに聖歌隊の歌声が被さり、聖堂の空気を一層華やかにします。明るく大らかで、深い信仰が溢れるスペイン語ミサ。主日の午後1時30分から主聖堂。百聞は一見にしかず。きつと「ムイ ビエン(素敵)！」ですよ。

スペイン語圏 安達 泰博

●宣教司牧評議会からのお知らせ●

(4月4日開催)

1. 今年度より宣教司牧評議会に財務委員長・施設委員長もオブザーバーとして出席いただくことになりました。
2. 現在のミッション小委員会の任期は2023年6月～2025年7月ですが、評議員の交替に伴う新委員の委嘱が承認されました。
3. 聖週間・復活祭の報告がありました。典礼はほぼコロナ前に戻り、参列者も多く活気のある復活祭となりました。特に12時英語ミサでは主聖堂に収まりきらず、外でも聖体拝領が行われました。また復活徹夜祭で6名、復活祭の日の洗礼式ミサで76名の方が受洗され、ミサの後ヨセフホールでのお祝い会にて主のご復活の喜び、受洗の喜びを分かち合いました。
4. 復活祭の日に難民支援のトートバッグ頒布がありました。ご協力ありがとうございました。

●2024年度財務委員会●

委員長 谷口央樹
 委員 岩崎準、青木敦子、芹川寛治、松橋豊子、吉岡雅之
 監事 塚本京子、戸川清
 顧問 井上淳嗣
 事務室担当 軽部修司 (敬称略)

●2024年度施設委員会●

担当司祭 柴田潔
 委員長 大海龍生
 委員 家田敦子、高松織部、齋藤順子、杉本清美、福永啓二
 コンサルタント 村瀬豊(株式会社テーテンス事務所)
 事務室担当 大塚裕章 (敬称略)

●聖体奉仕者任命●

東京大司教から、今年新たに当教会聖体奉仕者に任命され、任命書を授与された方は以下の通りです。

松本明弘 柴田千枝子 野牛晶子
 内田妙子 石橋庸子 降旗明子
 (申請順、敬称略)

●財務報告●

- ・3月29日(聖金曜日)の聖地のための献金381,823円は、ローマ教皇庁に送られ、聖地の巡礼所や聖堂の維持管理などに使われます。
- ・1月に送金した能登半島地震救援募金270万円に続き、その後いただいた募金1,039,946円を名古屋教区に送金しました。今後の募金はカリタスジャパンへ直接お願いします。

●金婚式・銀婚式を迎えられる方々へ●

聖イグナチオ教会では、当教会所属の信徒で今年結婚生活50周年、25周年をお迎えになる方々のために、バチカンが発行する「金婚式・銀婚式祝福記念証書」を授与できるように手配させていただいています。ご希望の方は、案内チラシをご覧の上、申込書に必要事項を記入して、教会事務室に提出されるか、郵送またはFAXにてお申し込みください。

申込締切は 7月5日(金)(厳守)

祝福記念証書は10月27日(日)10時、結婚感謝ミサにおいて授与される予定です。

ミッション 2030 黙想と分かち合い
 ～祈り・つたえ・つながり・ともに歩む～
 小さな分かち合い

「教会の語り部に聞く」

開催日時: 5月26日(日) 11:15～12:40
 場所: 信徒会館2階203AB

聖イグナチオ教会は今年、「現聖堂25周年」をお祝いしています。そこで、主聖堂をはじめとする教会施設の建設やその後の維持に力を尽くされた方々に、当時の思いやエピソードなどをお聞きし、参加者皆で「私たちがとつての教会」ということについて考えてみたいと思います。

今回の集いでは、2007～2008年に教会委員を務められ、「新しい聖堂や信徒会館をどのように維持していくか」ということに尽力された鈴木司郎さん(信徒)がお話しくださいます。

*詳細は教会ポスター、チラシでご確認ください。

●オルガンと祈り●

— パイプオルガン奉獻 25周年記念 —
 「オルガンで綴る 32文字の黙想」

日時: 6月4日(火) 19:00～ 主聖堂
 オルガン演奏: 浅井 寛子

*詳細はホームページ、チラシをご覧ください。

●事務室から●

4月から新しく宇留野真人氏が事務室職員として、イエズス会に採用されました。よろしくお願いたします。

5月の典礼と行事

1 (水) 労働者聖ヨセフの日	
3 (金) 初金曜日	
5 (日) 復活節第6主日	日曜サロン 11:00～12:30 ヨセフホール 世界広報の日・献金
8 (水)	傾聴ルーム 11:15～15:00 ヨセフホール 水曜ティーサロン 12:00ミサ後
12 (日) 主の昇天の祭日	子どもとともにささげるミサ 10:00 新受洗者・転入者オリエンテーション 10:00 ヨセフホール ミサがわかるセミナー 13:00 ヨセフホール
15 (水)	クリプタに安置され5月に命日を迎える方々のためのミサ 12:00 『社会問題とカトリック教会の考え 2024年度連続セミナー』 シノドスの教会ー皆が参加し、ともに歩んでみようー 18:30 ヨセフホール ともに歩む教会の顔(1)ー「あらゆる種族、ことば、民族、国民」からなる教会ー 講師：ポネット・ビセンテ神父、内田正氏、宮崎正子氏 (シノダるチーム)
19 (日) 聖霊降臨の主日	堅信準備会① 11:15
22 (水)	堅信準備会(平日①) 18:45 傾聴ルーム 11:15～15:00 ヨセフホール 水曜ティーサロン 12:00 ミサ後
26 (日) 三位一体の主日	堅信準備会② 11:15 教会案内ツアー ①10:30 ②11:00 ミッション2030 小さな分かち合い 11:15 203AB 教会活動連絡会議 13:00 ヨセフホール
29 (水)	堅信準備会(平日②) 18:45
30 (木)	ヤングオールド映画会 「十戒 前編」 13:00 ヨセフホール

最新情報は聖イグナチオ教会ホームページでご確認ください。

●献血のご報告と感謝●

4月14日(日)東京都赤十字血液センターによる献血をヨセフホールで行いました。ベトナム共同体の45人も含めた各言語共同体からの申し込みは75人でした。献血基準を満たさなかった17人を除き、58人から献血いただきました。初めてにも関わらず、当初目標の50人を上回ったのは珍しいと献血センタースタッフから感心されました。グエン・タン・ニャー神父をはじめ、企画から当日もサポートくださった方々に感謝いたします。今回の献血の呼びかけのきっかけとなった、リハビリ中の桜井彦孝神父への励ましにもなります。 柴田潔 神父



主任司祭：高祖 敏明

助任司祭：ボニー・ジェームス

グエン・タン・ニャー

サトルニノ・オチョア

柴田 潔

協力司祭：ハビエル・ガラルダ

中村 健三

グエン・バン・テー

関根 悦雄

マヌエル・シルゴ

シスター：マルセラ・ロサス

(セントロ・ロヨラ)

フロール・フロレーセ

(ジョン・デ・ブリット イングリッシュセンター)

ミサ参加方法はホームページ、教会事務室で確認してください。

ミサの時間 Mass

【平日 Weekday】主聖堂 Main Chapel

7:00/12:00/18:00

【土、日曜日 Saturday & Sunday】主聖堂 Main Chapel

土曜 18:00/19:30 (Viêt Nam)

日曜 7:00/8:30/10:00/18:00

12:00 (English) /13:30 (Español) /

15:00 (Viêt Nam)

【月の第1日曜日 1st Sunday】

Our Lady's Chapel

12:30 (Português) /16:00 (Polski)

【月の第2第4日曜日 2nd & 4th Sunday】

Our Lady's Chapel 16:30 (Indonesian)

カトリック麹町教会
(聖イグナチオ教会)

〒102-0083

千代田区麹町6-5-1

TEL 03-3263-4584

FAX 03-3263-4585

<http://www.ignatius.gr.jp>

Linktree (リンクツリー)
リンクツリー (linktree) とは多数のリンクをまとめて表示しているツールのことです。このQRコードを読み取ると教会ホームページ、教会ガイド、Twitter、Facebook、Instagram、YouTubeへアクセスできます。

『マジス』へのご意見ご要望などのお便りは事務室までお寄せください。

*本文中の役職名等は、寄稿もしくは取材時のものです。